Nine Eagles
www.nineeagle.com

Nine Eagles®

HITEC
MULTIPLEX®

◎輸入販売元・お問い合わせ
〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン
Nine Eagles 専用ダイヤル：03-6458-0191
受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く）
10：30～12：30、13：30～16：30
Web Site : www.hitecrcd.co.jp

こちらのお問い合わせ先はカスタマーサービス専用ダイアルとなっております。
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。

2.4GHz 4ch MULTICOPTER

GALAXY VISITOR 2

ギャラクシービジター２

SLT™
SECURE LINK TECHNOLOGY

2.4GHz互換システム RFアダプターモジュール
GENERAL LINK 対応

2.4GHz 4ch

日本語取扱説明書

Ver.1.05　2014/01/30

ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

ご購入頂いた際の日付入りレシートや領収書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、大切に保管くださいますようお願い致します。

当製品は製品の性質上、ご購入後(2週間以内)の不良以外、交換はお受けすることはできません。また、返品はお受けできません。あらかじめご了承ください。

※当製品は予告無く仕様を変更する場合がありますので、最新情報は弊社WEBサイトでご確認ください。

文中のアイコン表記について

⚠ WARNING　注意事項です。必ずお守りください

目 次

はじめに

この度は当製品をご購入いただき誠にありがとうございます。安全に飛行させるため、飛行前に当説明書をよくご覧いただきます様、お願い申上げます。

飛行の際の注意
本製品は姿勢制御にナインイーグル社独自の高性能9軸センサーを使用しております。そのため飛行させる際は機体と送信機の電源を入れ、5秒間水平な場所に置き、センサーのイニシャライズを行ってください。
バッテリーの過放電にご注意ください、本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しておりますので、飛行中にパワーが低下した場合は、すぐに飛行を中止し充電をするまで使用しないでください。

本送信機は以前のJ4送信機とは異なり、ネジを外して操縦モードを切り替えることはできません。
日本国内ではモード1での販売となります。

重要事項

当製品は玩具ではありません。受信機や送信機は精密機器となります。取扱方法を誤ると重大な事故につながる恐れがあります。また、当製品をフライト頂くには適切なメンテナンスが必要です。十分ご理解頂いてからフライト頂けますようお願い致します。実際にフライト頂くにはご経験豊富なRCショップ様やフライトクラブ等、適切なアドバイスの下、安全にフライト下さい。当製品の性格上、フライトにおける損失・事故等にはいかなる保証も致しかねます。

フライト場所は地域行政の指示に従い、決して危険な場所でのフライトはお避け下さい。空港周辺・道路・公園・河川敷・広場などでのフライトは禁止されておりますので、十分にご注意ください。フライト場所にお困りの際やフライト方法に不安がある際は、最寄りのRC販売店様またはフライトクラブにお尋ね下さい。

⚠ WARNING 適切な場所でフライトをしましょう

当製品をフライト頂くには、安全な場所を確保してください。当製品は高速でローターが回り、人や物に当たると大変危険です。また、周囲に建物や自動車、列車や航空機、高圧線や電線がないことも必要です。公共の場所やRC製品の使用が禁止されている場所でのフライトは絶対におやめ下さい。

⚠ WARNING 経験豊富な指導者の助言を得ましょう

当製品をフライト頂くにあたり、上達への近道は経験豊富な指導者の助言を得ることです。正しい設定方法やフライト方法を身につけるには最寄りのRCショップ様やフライトクラブに加入して助言を得ることです。また、フライトシミュレーターを活用することも十分な効果を得ることが出来ます。

⚠ WARNING 適切なメンテナンスが必要です

ヘリコプターを操作する際は、高速に回転するメインローターに十分ご注意ください。操縦者とヘリコプターとの間隔は必ず3m以上離れてください。事故や怪我がないように、適切なメンテナンスを心がけてください。当製品の性格上、初めてフライト頂く前にも必ず各部点検(ネジの緩みや電子パーツの動作確認など)を行ってください。

当製品をフライト頂くにあたり、初フライトを含め、各部点検を確実に行ってください。破損個所がある場合は、速やかにパーツ交換を行ってください。破損個所があるままフライト頂くと重大事故につながる恐れがあります。また、製品は直射日光に当たる場所や自動車内に放置しないでください。プラスチックが変形する恐れがあります。

フライト頂く前に必ずお読みください

- 本機体は軽量の為に風の影響を受けやすくなっております。エアコンや換気扇、窓からの風を遮断すると機体が流されることなく安定したフライトを楽しめます。
- 初心者の場合は出来るだけ家具の無い広い部屋（8～10畳）での練習をお奨めします。
- 当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様に使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- 飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- メインローターは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- 飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後は部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- 飛行させないときは常に機体からバッテリを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- 本機はLi-Poバッテリを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- 本機のLi-Poバッテリは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- 本機のLi-Poバッテリの充電は高温度や直射日光をお避け下さい。
- 本機のLi-Poバッテリの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- 本機のLi-Poバッテリを分解や改造しないで下さい。
- 送信機と機体、及びLi-Poバッテリは絶対に水に濡らさないで下さい。
- 本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- 当製品の性格上、お客様がご使用（飛行）になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

【NineEaglesヘリコプター製品動作確認手順のご案内】

【機体破損の有無】
1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
2.機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロポの動作確認手順】
1.プロポの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットルの各種スティックを動かして引っ掛かりがないこと、スティックに追従していることを確認してください。
2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認してください。

【機体の動作確認手順】
1.水平な場所で機体の電源を入れ各操作が機体サーボまたはモーターに反映されているか確認してください。
その後、機体のモーターを少し回した状態で機体を前後左右に傾け、モーターのパワーが増減しジャイロが正常に作動していることを確認します。

Galaxy Visitor 2 | Nine Eagles® Instruction Manual

⚠WARNING Li-Poバッテリ 取り扱い上の注意（必ずお読みください）

Li-Poバッテリは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。
最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱いください。
その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1.取扱上の重要事項

- LiPoバッテリを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- 設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- 充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行ってください。
- 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用ください。
- 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないでください。
- 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用できません。
- 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないでください。
- 電池パックを絶対に分解・改造しないでください。
- 過放電してしまったバッテリはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようご注意ください。
- 軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPoバッテリが次第に傷んでいきます。
- LiPoバッテリは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2.充電時の注意

- 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処してください。
- 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。（さらに充電し続けると爆発します）バッテリーを外して安全な場所で様子を見てください。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- 送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにしてください。
- 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置してください。
- 充電器は高温になりますので、火傷にご注意ください。
- 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外してください。
- 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電（使用）しないでください。
- 充電は電池温度が0～35度の範囲で行ってください。

3.機体がクラッシュ（墜落）した場合

- 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見てください。
- 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用できませんので適切に破棄してください。

4.電池の保管・保存

- 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意してください。
- 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないでください。発火の恐れがあります。
- 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存してください。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持してください。
- 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないでください。
- 満充電で放置しないでください。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存してください。

5.電池の運搬・廃棄

- 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬してください。
- 電池を破棄する場合は約二日間、5%程の食塩水に浸してください。電池が完全に放電され不燃物として破棄することが可能です。
- 絶対に火の中に投じないでください。爆発します。
- 電池をリサイクルする場合は、詳しい方法をお近くのリサイクル協力店様にお問い合わせいただき、適切に行ってください。

イントロダクション

GALAXY VISITOR 2は革新的なミニクワッドコプターです。
本機体は搭載された9軸システムにより優れた安定性と操作性を発揮し、安定して簡単に操縦できるため初心者の方にも最適な機体となっております。また、幅広いお客様に飛行を楽しんでいただける様、操縦者のフライトスキルに適したモードを自由に切り替えることが可能です。
本機体は屋内だけでなく屋外でも自由にフライトを楽しむことができます（風速3〜5メートルまで）
また、オプションのカメラシステムを搭載することで、楽しみ方はフライトだけに留まりません。
それでは本説明書をよくご覧になった上、GALAXY VISITOR2のフライトをお楽しみください。

製品特徴

●小型マルチコプターとして世界で初めてヘッドロックモードを搭載
●送信機の手元にあるボタンによりスムーズなフライトモードの切り替えが可能
●ヘッドロックモードでは機体の向きに応じて操作方向が異なることが無くなりますので初心者の方には最適です。
●機体がボタンひとつで送信機の近くに戻ってくるカムバック機能を搭載
●ブレーキファンクション搭載　●加速度センサーのON/OFF設定が可能
●カメラシステムを装備することで簡単に空撮が可能　●機体各部にLEDライトを搭載

製品に関する注意事項

当製品はすべて飛行調整を行った状態で出荷しております。そのため通常はお客様ご自身で細かな設定を行う必要はございません。一部本説明書にも記載いたしますが、工場出荷時において行われる加速度センサーのリセット等のアドバンスセットアップにつきましては、弊社サポートページにて詳細をご案内いたします。
http://www.hitecrcd.co.jp/support/

お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や、技術的なご質問がある場合はまず26ページのQ&Aをご覧いただいた後、販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。

スペアパーツにつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。
お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショップ一覧をご覧ください。
http://www.hitecrcd.co.jp/shop/index.htm

※当製品は送受信電波に「SLTプロトコル」を採用しています。このため、これまでのNineEaglesプロトコル　製品（SoloMaxxやHughesSX, SoloPro328など）とは互換性がありません。このため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。

また、本製品付属のJ4送信機は磁気センサーを装備したGALAXY　VISITOR　2専用となっている為、全ての機能を使用する為には付属のJ4送信機以外の送信機では正常に動作いたしません。予めご了承ください。

※以下に記載する場所では磁気センサーが正常に動作しない場合があります。
本製品は送信機と機体に電子コンパス（地磁気センサー）が搭載されています。これにより機体や送信機の方角を測定し、このデータを各機能の制御に使用しています。屋外では問題無く地磁気を検出できますが、下記の場所では地磁気が弱くセンサーが正確に方角を検出できず各機能が正常に機能しない場合がありますので予めご了承願います。
「鉄骨製の倉庫」、「鉄筋ビルの室内」、「機器の多い室内」、「都心のビル街」、「鉄塔の近く」、「金属等の導電性の床」

スペック

TX......NE-TXOS216-BS(4CH 2.4GHz SLT) GV2専用
RX......NE-MASF11:4in1(9軸センサー・ESC・ミキシングシステム・2.4GHz受信機)

メインローター径............................ 56mm
全　長.. 102mm
全　幅.. 102mm
全　高.. 42mm

機体全備重量..43g
モーター.........Φ7.0コアレスモーター×4
バッテリー.............3.7V 350mAh Li-Po

＜カメラ＞
記録媒体................................32GBまでのマイクロSDカード
サイズ....................................40×20×8㎜(L×W×H)
動画ファイル仕様..................JPEG 1280×720/30fps/ファイル拡張子 avi
音声ファイル仕様..................PCM S16 LE mono
静止画ファイル仕様.............1280×720/96dpi/拡張子 jpg

同梱品一覧

※画像は試作機のため、一部仕様や形状が異なる場合があります。

内容物	カメラ付 RTF	カメラ無 RTF
Galaxy Visitor 2 本体	1	1
2.4GHz 4ch J4 送信機（SLT 仕様）	1	1
カメラ	1	—
2GB Micro SDカード	1	—
カードリーダー	1	—
単三アルカリ電池	4	4

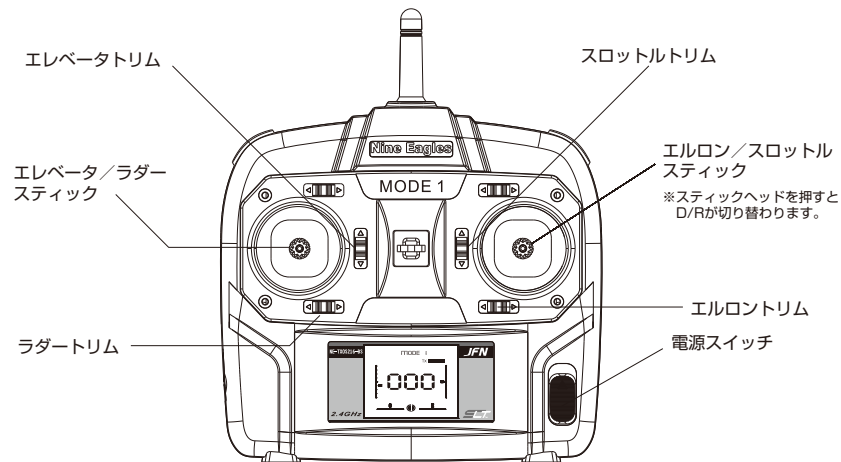
内容物	カメラ付 RTF	カメラ無 RTF
予備プロペラ	4	4
ドライバー	1	1
3.7V 350mAh リポバッテリー	1	1
USB充電器	1	1
日本語取扱い説明書	1	1
ブレードガード	4	4

**注意:　通常セットの場合はカメラシステムとMicroSDカード及びカードリーダーはオプションとなります。
カメラ付きフルセットの場合はカメラシステムとMicroSDカード及びカードリーダーが標準で付属いたします。**

送信機各部名称（モード1）

スティック配置は【モード1】固定です

- **右スティック:エルロン・スロットル操作**
- **左スティック:エレベーター・ラダー操作**

エレベータトリム
スロットルトリム
エレベータ／ラダースティック
エルロン／スロットルスティック
※スティックヘッドを押すとD/Rが切り替わります。
エルロントリム
ラダートリム
電源スイッチ

① FLIP...............加速度センサーのON/OFFスイッチ
② AUX ....ヘッドロックモードとカムバック機能を使用する際のモード切り替えボタン
③ PICTURE.....写真撮影用ボタン※
④ VIDEO ....動画撮影用ボタン※

※オプションのカメラモジュール装着時に使用します。

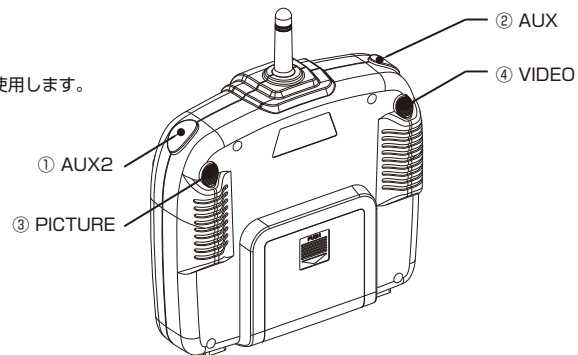
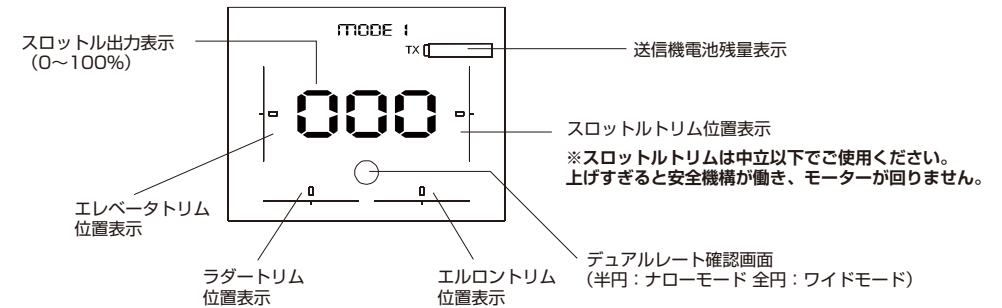
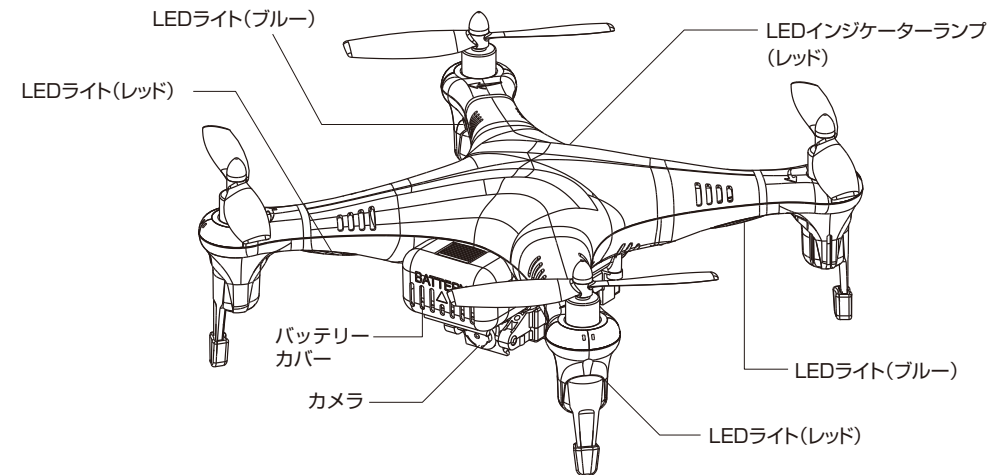
① AUX2
② AUX
③ PICTURE
④ VIDEO

Galaxy Visitor 2 | Nine Eagles® Instruction Manual

液晶画面表示（モード1）

スロットル出力表示（0～100%）
送信機電池残量表示
スロットルトリム位置表示
※スロットルトリムは中立以下でご使用ください。上げすぎると安全機構が働き、モーターが回りません。
エレベータトリム位置表示
ラダートリム位置表示
エルロントリム位置表示
デュアルレート確認画面（半円：ナローモード 全円：ワイドモード）

機体各部名称

LEDライト（ブルー）
LEDインジケーターランプ（レッド）
LEDライト（レッド）
バッテリーカバー
カメラ
LEDライト（ブルー）
LEDライト（レッド）

飛行前の準備

（1）送信機に電池を入れてください
1 送信機の裏蓋を外してます。
2 単三乾電池を4本正しい向きで入れます。
3 送信機の裏蓋を取り付けてください。

（2）機体のバッテリーを充電してください
1 リポバッテリーをUSB充電器に接続します。（バッテリーの極性に注意して充電器のソケットにバッテリーのコネクターの形状が合うように正しく接続してください）
2 充電器をPC等のUSBソケットに差し込みます。充電が開始されると赤色LEDが点灯します。充電中はLEDが点灯し、充電が完了するとLEDが点滅します。

注意
●充電中はバッテリーの状態に注意し、異常がないか良く確認してください。充電が完了したら充電器からバッテリーを外してください、接続したままにしておくことは避けてください。
バッテリーを使用する際は過放電にご注意ください。フライト中にパワーが低下したら、機体を降ろし、バッテリーを充電してください。
●弊社Weekender製品Q4とはバッテリーの極性が異なりますので、絶対に使用しないでください。必ずGalaxy Visitor 2専用のバッテリーをご使用ください。
●併せて、5ページのバッテリー取扱いの注意事項をご参照ください。

外観チェック

ボディーが破損していたりプロペラが変形していないことを確認し機体外観に異常がないかチェックしてください。

ブレードプロテクターの取り付け方法

GALAXY VISITOR2 ではブレードプロテクターが標準で付属しています。
ブレードプロテクターは操作を誤り、障害物に接触した際にブレードを保護し、機体やブレードの損傷を低減します。
初心者の方には有効なアイテムとなりますのでぜひご使用ください。以下、取り付け方法を記載致します。

1 向きに注意しながら画像のようにブレードの間からプロテクターを差し込んでください。そしてモーターとネジ穴に合わせ仮止めしてください。
2 付属の取り付けネジを使用し、本体とプロテクターをネジ留めしてください。
3 上記の手順と画像を参考にして、全てのプロテクターを正常に取り付けてください。

Galaxy Visitor 2 Nine Eagles® Instruction Manual

電源のチェック

1 送信機の電源を入れてください。

送信機の電源が入らなかったり、送信機電池残量表示の残りが少なくなり、送信機からエラー音が鳴っている場合は電池を交換してください。
スロットルスティックを上下に動かし、スロットルのトリム表示に異常がないことを確認してください。
同時に各トリムスイッチが正常に動作していることも確認してください。

注意：送信機の電源を入れる際はスロットルスティックが最スローであることを確認してください。その他の舵は所定の位置より動かさないようにしてください。以上の点を注意することで機体が正しく動作します。

2 機体のバッテリー格納カバーを開けバッテリーを接続してください。

注意：機体にバッテリーを接続する際は水平な場所に置き、機体を動かさないように注意してください。電源を入れてから約5秒程は動かさないようにして、機体内部のLEDが高速点滅するまで待ってください。
機体の色によってはLEDの表示が確認しずらい場合がございますので、5秒程待った後スロットルを少し上げ、モーターが回ることが確認できたら動作は正常です。

3 バッテリーを機体内部に入れカバーを締めてください。

送信機の電源を入れてください。水平な場所に置き、電源を入れ5秒程待ってバッテリーを挿入してください。

1.送信機の電源を入れる	2.LiPoバッテリーを向きに注意して挿入します

4 水平な床の上などで機体を手で押さえて、スロットルスティックをゆっくり上げてください。

すると4つのプロペラが一斉に回転しスロットルの操作に応じて回転数が増加していくのでこの時、機体が大きく振動していないことを確認してください。
同時にスロットルが中立の時、他のスティックを動かし操作に応じてプロペラの回転数が変化していることも確認してください。

5 他のスティックを動かさないようにしてスロットルを中立にしプロペラを回転させてください。

機体を前後左右に傾けるとジャイロが正常であれば、各プロペラの回転スピードが変化し機体を安定させようとするので、こちらを確認してください。

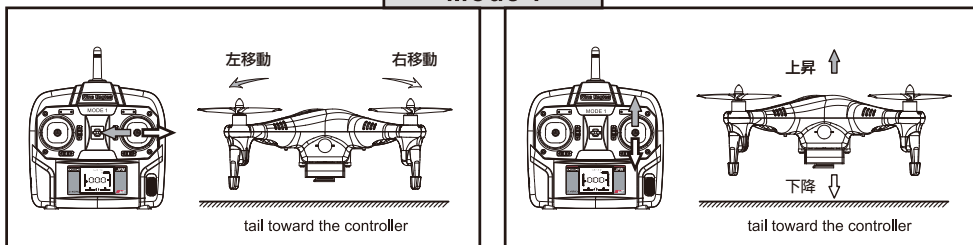
6 スロットルを下げ機体のバッテリーを抜き送信機の電源を切り検査を終了してください。

注意：検査において機体が正常な反応を示さなかった場合は 26～27 ページのQ&Aをご覧ください。

フライトの基本知識

Mode 1

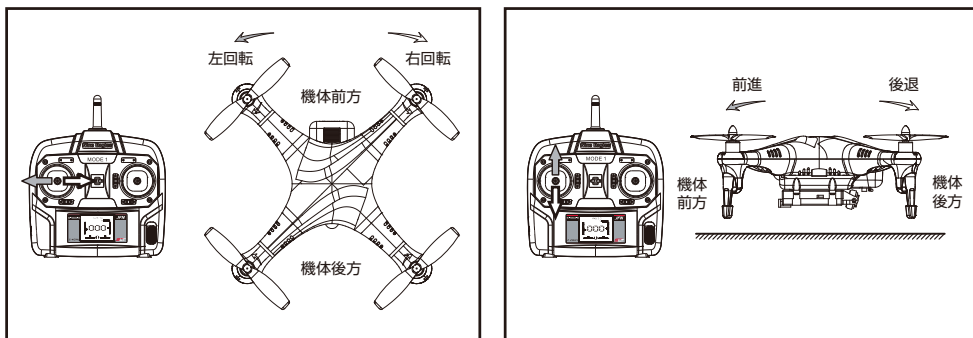
左移動 右移動

tail toward the controller

1. 画像のような向きで機体を自身の前方に置きフライトさせた場合、エルロンを右に打つと機体は右移動し同様に左に打つと左移動します。

上昇 下降

tail toward the controller

2. スロットルスティックを上下に動かすと、スティックの操作に応じて機体は上昇・降下します。

左回転 右回転 機体前方 機体後方

3. ラダースティックを左右に動かすと機体はその場で左右に機首を振ります。

前進 後退 機体前方 機体後方

4. エレベータースティックを上下に動かすと機体は前進・後進します。

注意：前頁の4つの動作の中の写真4のみ機首が左を向いています。
他の画像では常に機体の後ろ側を見ながら操縦している状態であり、つまりは操縦者は実機を操縦する時と同じパイロット目線で操縦することとなります。
しかし、操縦者の立つ位置や操縦者に対して機体の向きが変わると、送信機の操作に対して、機体はその向きに応じた反応を見せます。そのため操縦者は機体の向きに応じた適切な舵を打つ必要があります。
まず、初心者の方は機体の後ろ側を見ながら操縦し機体の高度を一定の高さで飛行できるようにし、徐々に他の姿勢でも適切な舵を打てるよう、機体の操作に慣れてください。

注意：送信機と受信機に磁気センサーが搭載されています。そのため、機体のコントロールが失われたりコマンド操作が正常に動作しない可能性がありますので、飛行中は金属体や磁性体には近づけないよう注意してください。

Galaxy Visitor 2 | Nine Eagles® Instruction Manual

フライトトレーニング

フライトエリア

フライト場所には、障害物のない広い空間を選んでください。屋外で飛行する場合は、木や電柱などの様々な障害物がある場所は避け、微風の時に飛行してください。

フライト練習

1 飛行前点検の後、送信機と機体の電源を入れてください。
2 機体の後方が自身に向くように、2メートル程離して置いてください。
3 機体が確実に離陸するまでゆっくりとスロットルを上げてください。離陸したらスロットルを操作し機体の飛行高度を調整してください。
4 初心者の方は飛行高度をコントロールすることに集中してください、飛行に適した高度は地面からおよそ50㎝の高さです。30㎝以下で飛行させると、しっかりと当て舵を打たなければ地面効果の影響を受け、飛行が不安定となります。また飛行高度を上げ過ぎても操作を誤った際にダメージが大きくなりますので高く上げ過ぎないように注意してください。
5 機体の高度を上手に制御できスムーズな離着陸を行えるようになったら、ラダーを操作し機体の後方が常に自分と対面するように、機体の向きを制御する練習をしてください。
6 フライトスキル：機体の向きに常に注意を払い、エルロン・エレベーターのスティックを操作し、その場でホバリングできるように練習してください。最終的には機首がどちらを向いても、正しく操作できることが上達への道です。

注意：
1 機体が50㎝程の高さより上昇しなくなりバッテリーのパワーが無くなってきたら、すぐにフライトを中止し、着陸させてください。再度、飛行させる場合は必ずバッテリーをフル充電をしてから飛行させてください。
2 機体のLIPOバッテリーを取り外したらすぐに送信機のスイッチを切ってください。
3 機体が飛行中に何らかの障害物に衝突し墜落してしまった場合は、機体のダメージを最小限にするためすぐにスロットルスティックを下げてください。また、機体に損傷がないか、よく確認してください。
4 長期間フライトをさせずにバッテリーを保管する必要がある場合は、機体からバッテリーを取り外しバッテリーの電圧が 3.85Vを下回らないように注意して保管してください。同時に送信機の電池も取り外してください。保存に適した電圧（3.85V程度）にするには、バッテリーをフル充電した状態から2～3分程飛行させると良い状態となります。

ブレーキファンクション機能

Galaxy visitor 2 はブレーキファンクション機能を搭載しています。
通常のRCヘリコプターはエルロン、エレベーターの舵を用いていずれかの方向に飛行している時、スティックをニュートラル（中立）位置に戻しても慣性の力が働いている為、適切な当て舵を打たなければ直ぐには停止しません。
しかし Galaxy visitor 2 には、ブレーキファンクション機能があるので、飛行中にエルロン、エレベーターの舵をニュートラル（中立）にすることで直ぐに停止しホバリングへと移行可能です。

※加速度センサーを ON にしている時に機能します。

アドバンスフライトモード

１・通常フライトモードとヘッドロックモード

これまでの説明の中で機体は送信機からの命令を受信し動作しますが、操縦者と機体の向きの違いにより実際に動作する方向が異なります。
これが通常のコントロールモードとなり、操縦者は機体の向きに応じて適切な操作をしなければなりません。例えば、送信機のエルロンのスティックを操作したとき機体の後方が自身と送信機に対面していれば機体はスティックを動かした方向と同一の動作をします。（図 C 参照）

飛行中に機体の向きが変化したときは上記の動作は変化します。機体の前方が自身と送信機に対面している場合は、エルロンを左右に動かしたとき機体の動作は逆となります。こちらはエレベーターの舵についても同様です。（図 D 参照）

飛行中に向きが変わると対面 / 正面 / 側面のように様々な向きが発生し、スティックの操作と実際の機体に反映される動きはそれぞれ異なります。
これに応じ機体の向きにより適切な舵を打たなければならない為、初心者の方は難しく感じるられるかと思います。

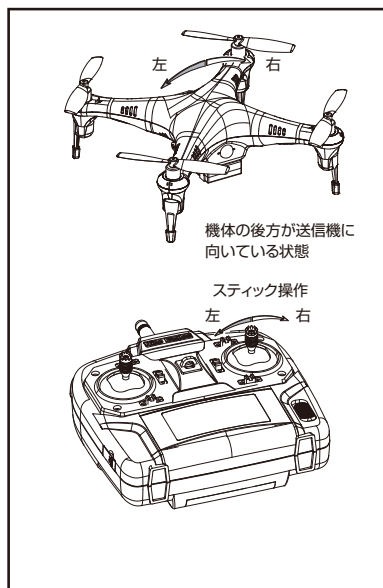
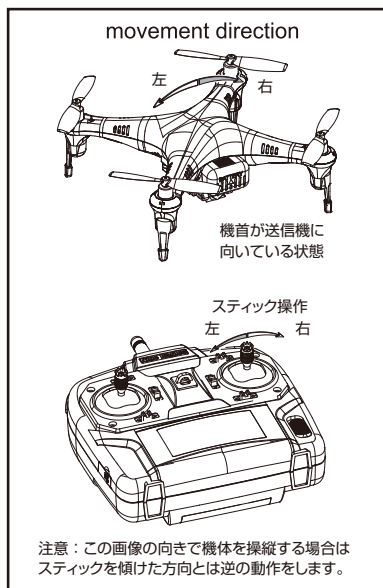
またマルチコプターは離れてしまうと機体の向きがわかりづらいという点も難しい要因の一つです。
しかし、GALAXY VISITOR2 には上記の問題を解決できるヘッドロックモードといった独自の機能があります

注意：この画像の向きで機体を操縦する場合はスティックを傾けた方向とは逆の動作をします。

図 C

図 D

Galaxy Visitor 2 Nine Eagles® Instruction Manual

ヘッドロックモード

この機能を使用し機体を飛行させせると機体の向きに関係なくに実際に機体に乗りパイロットの目線で操縦してるかのように常に同じ操作方向にて操縦可能となります。
（図 E 参照）

●機体が90°方向転換して側面を向き、機首が左を向いている状態においても、ヘッドロックモード作動時はエルロンスティックを左右に動せば機体は左右移動を行います。
●ヘッドロックモードでは通常フライトモードとは異なり、姿勢の向きに注意し操作する必要はありません。
●フライヤーは機首がどちらに向いていても常に同じ操作方向となり対面 / 正面 / 側面といったように機種の向きにより操作方向が変わるという概念が無くなります。
●ヘッドロックモードで機体を操縦する際は送信機のアンテナの先を機体に向け続けることで、より良いパフォーマンスを発揮します。

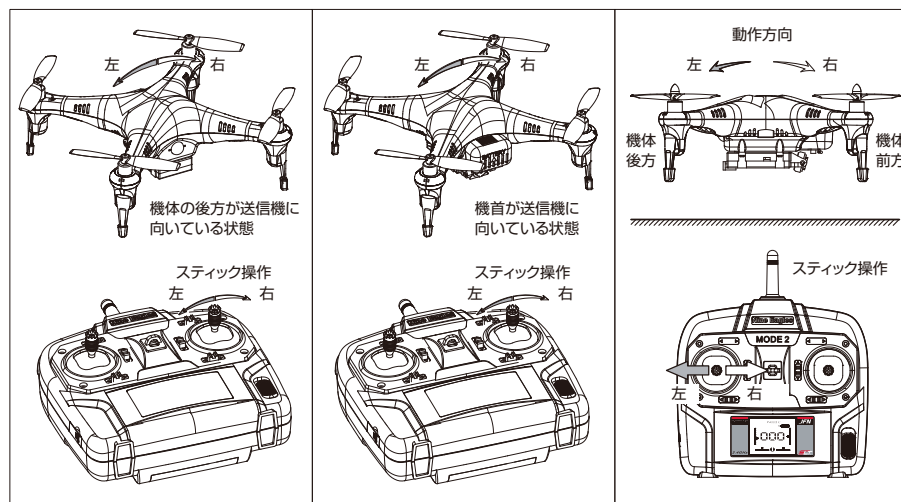



図 E

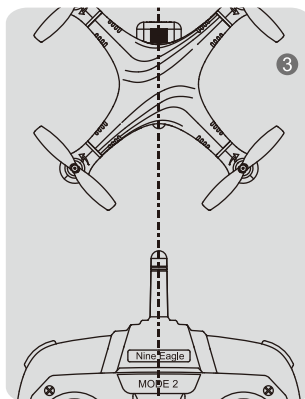
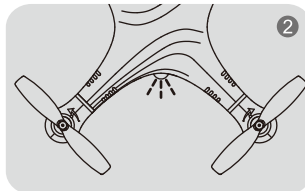
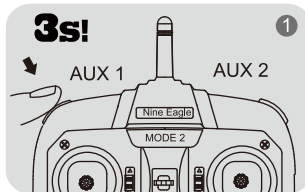
ヘッドロックモード作動手順

1） 初めに送信機の電源を入れます。その後、機体のリポバッテリーを接続し機体の電源もいれます。

2） バインドが完了するまで待ちます。
（機体後方のシグナルインジケーターが点灯するのを確認します。）

3） 送信機の左上にあるAUX1ボタンを約3秒ほど長押しします。
（画像1）

4） このとき、機体後方のシグナルインジケーターはゆっくりとした点滅変わり、ヘッドロックモードが作動したことを示します。（画像2）
再度AUX1のボタンを長押しするとLEDは点灯に変わり通常モードになります。

3s!
AUX 1
AUX 2
Nine Eagle
MODE 2

ヘッドロックモード時の注意点

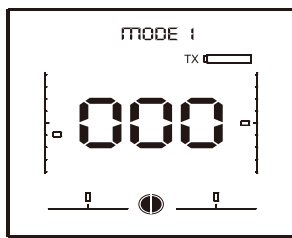
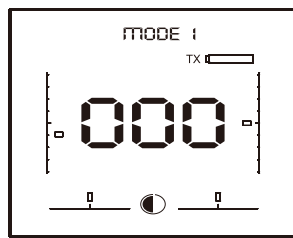
ヘッドロックモード時では離陸の際にアンテナの先と機体のインジケーターライトが対面するようにアンテナの先を機体に確実に向けてください。（画像3） 飛行中に機体の向きを変化さた場合も機体にアンテナの先を向け続けてください。アンテナの向きが著しくずれてしまうとヘッドロック機能は不安定となります。
また、地面に置いた状態で機体の向きを手で変えてしまったり、ヘッドロック作動中に一度着陸してしまうと同様に不安定となります。

D／R（デュアルレート）の切り替え

デュアルレート設定で送信機操作量をワイド（100%）・ナロー（70%）の２通りに切り替えができます。ナローモードは主に室内向け、ワイドモードは屋外向けとなります。
1. 送信機の電源が入っている状態で右スティックを押し込みます。
2. 送信機液晶画面でワイド・ナローモードどちらかが確認できます。

MODE 1
TX
000

ワイドモード

MODE 1
TX
000

ナローモード

※ワイドモードでは操作量が大きくなり、機体が大きく反応します。このため、狭い空間でフライトすると衝突などする恐れがありますので、十分ご注意ください。

加速度センサーのON/OFF

この機能は加速度センサーの ON/OFF をユーザー自身で選択していただくことにより、様々なスキルのユーザーに合わせた飛行を楽しんでいただく事ができます。

GALAXY VISITOR2の操縦に慣れ、より高度な操縦感覚を楽しみたい方は加速度センサーを OFF にしてください。OFFにすると加速度センサーのアシストが無くなるため、機敏なフライトが可能になります。ただし、操作には正確な当て舵が必要となります。
安定したフライトが必要な場合は加速度センサーをONにしてください。3Gジャイロに加え加速度センサーのアシストがありますので、より安定したフライトが可能となります。

設定方法

■ 加速度センサー ON→OFF
送受信機の電源を入れた状態で送信機のAUX2ボタンを押してください。
その時、機体後方の赤色LEDインジケーターが二回点滅した後、消灯し1秒後二回点滅した後、点灯したら加速度センサーがOFFとなったことを示します。

■ 加速度センサー OFF→ON
送受信機の電源を入れた状態で送信機のAUX2のボタンを押してください。
その時、機体後方の赤色LEDインジケーターが四回点滅した後、点灯したら加速度センサーがONになったことを示します。

注意：加速度センサーはデフォルト状態でONになっています。

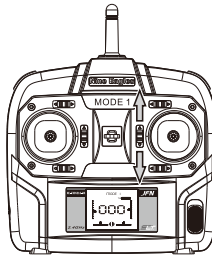
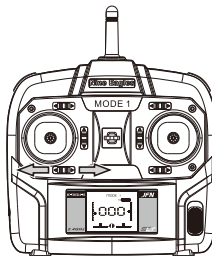
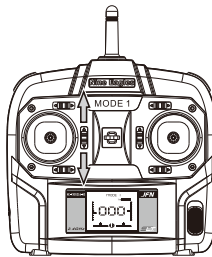
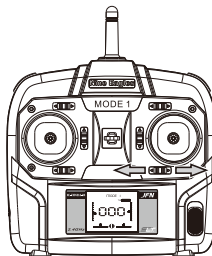
トリム調整

フライト中に機体が何れかの方向に流れてしまう場合は、送信機のトリムで調整が可能です。
（スロットルトリムを除く）

初飛行の際はスロットルを除く全てのトリムの数値が中立になっていることを確認してください。スロットルトリムは常に中立以下である必要があります。スロットルスティックが最スローの時に全てのプロペラが停止していることを確認してください。

本製品にはスロットルフェイルセーフ機能が搭載されています。
以下の２点の確認が取れない場合は、フェイルセーフが働きモーターが回りません。
1. 送信機と本体の電源を入れる際にスロットルトリムが中立以下である
2. スロットルスティックが最スローである

Mode 1

スロットルトリム調整
スロットルトリムは調整する必要はありません。ただし、スロットルトリムポジションが中立以上に設定されていると、安全機構が動作し、モーターが回らない仕組みになっています。必ず中立以下に設定してご使用ください。

ラダートリム調整
機体がその場で回転する場合、回転を止めるためにラダートリムを使用し、機体が回転する方向とは逆に調整します。 機体を上から見て時計回りに回る場合は、トリムを左方向へ調整し、反時計回りに回る場合は右方向へ調整します。

エレベータトリム調整
機体が前進・後進してしまう場合は、エレベータトリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。 機体が前進してしまう場合は、トリムを下方向へ調整し、後退してしまう場合は上方向へ調整します。

エルロントリム調整
機体が水平方向の左右に移動してしまう場合は、エルロントリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。 機体が右へ移動してしまう場合は、トリムを左方向へ調整し、左へ移動してしまう場合は右方向へ調整します。

カムバック機能

（1）カムバック機能とは

通常飛行、ヘッドロックモードの 2 つのモードにおいて、飛行中機体が遠くに行ってしまい、姿勢が分らなくなり操縦が困難になった場合は送信機の AUX ボタンを素早く 1 回押すことでカムバック機能が作動し、GALAXY VISITOR2 は操縦者の近くに戻ってきます。

図 G

（2）・どのような時、カムバック機能を使用するのか

飛行中、遠くに機体が行ってしまい姿勢が分らなくなり操縦が困難となった時、送信機のAUXボタンを素早く 1 回押すことでカムバック機能が作動しGALAXY VISITOR2 は操縦者の近くに戻ってきます。（図 G 参照）
カムバック機能使用中は、作動中は赤色LEDのシグナルライトが高速点滅します。

（3）・カムバック機能使用時の注意事項

1　カムバック中もスロットルの操作を行い、地面付近の障害物に当たらないように注意してください。
2　送信機は地面に対して水平に持ち、アンテナの先を機体に向けてください。
　また、送信機と機体の間には障害物がないようにしてください。
3　カムバック時、操縦者の上を通り過ぎてしまったら操縦者はすぐに向きを変え、送信機を機体に向け直してください。
　そうしなければ、操縦者の上を通りすぎたままもっと遠くへ離れてしまいます。
4　初めてカムバック機能を使用する場合は、障害物のない広い場所で行ってください。

（4）・カムバックのキャンセルの仕方

方法1　カムバック時、エレベーターまたはエルロンのいずれかのスティックを操作すると、カムバック機能はキャンセルされます。そのため、キャンセルされた後は以前のフライトモードになりますので、各スティックの操作が必要となります。
方法2　再度AUXボタンを素早く一度押してください。

カムバック時の機体の飛行方向

カムバック時、機体は送信機のアンテナの先に向かって飛行します。（画像H参照）
この特性を利用し機体を自身についてこさせるフォローミーアクションを行うことが可能です。
画像のように送信機の向きを変えることにより機体の飛行方向を変えることが可能です。

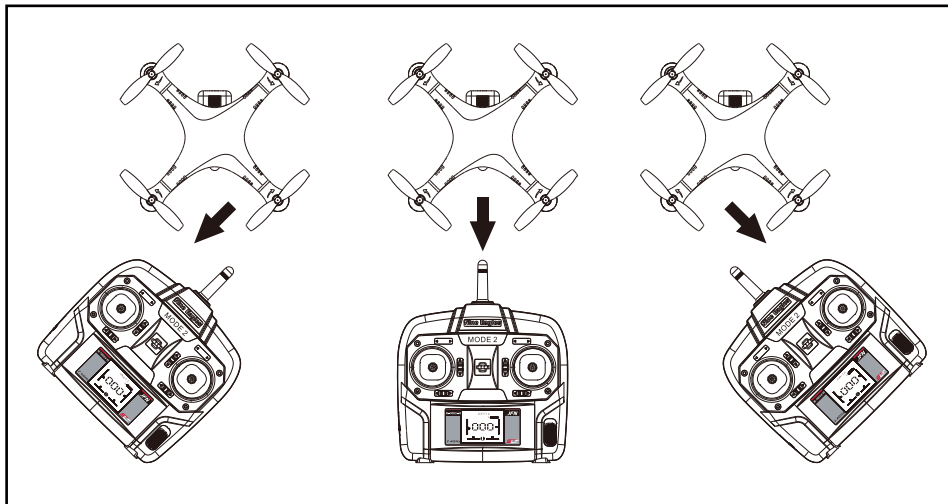



図 H

カムバック時の機体の操縦方法

カムバック時はエルロン･エレベーターのスティック操作を行わなくても機体を操縦することが可能です。
画像Hに従い、送信機の向きを変えアンテナの先の照準をあえて機体から逸らすことで機体の進行方向を変えることができます。
機体の動きを良く確認し、適切な方向に送信機のアンテナの先を向け上手に操縦できるように練習してください。

カムバック時に送信機を左に向けると機体は右に移動し、送信機を右に向けると機体は左に移動します。
この動作を組み合わせることでカムバック時のコースの修正やフォローミーアクションを行えます。

●カムバック機能は通常フライトモード、ヘッドロックモードどちらのモードでも使用可能です。
●カムバック時のコントロール精度に影響を及ぼしますので機体のコントロールはプロポを地面に対して水平な状態で持ち向きを変えるようにしてください。

カメラシステムの使用方法

（1）カメラの取り付け方法

1　機体背面のカメラを固定する4つの円柱にラバーゴムを合わせてください。（写真I 参照）
2　カメラを円柱に合わせネジで固定します。（写真J 参照）
3　コネクターの向きに注意してカメラコネクターを機体背面の差し込み口に入れてください。（写真K 参照）

図 I　図 J　図 K

（2）カメラシステムの録画と写真撮影の方法

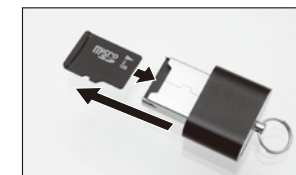
1　カメラ側面のSDカードスロットにカードをしっかりと差し込み、送信機と機体の電源を入れてください。
2　写真撮影を行う場合は送信機の（PICTURE）ボタンを押してください。撮影が行われると（画像L）の赤色LEDが1秒～2秒ほど点滅した後、再度点灯します。
3　動画撮影を行う場合は送信機の（VIDEO）ボタンを押してください、撮影が開始されると（画像L）の赤色LEDが撮影中は点滅した状態となります。そして再度（VIDEO）ボタンを押すと動画データが保存され動画撮影モードが終了します。

図 L

●写真の連続撮影は初めの撮影から次の撮影まで2秒ほどの時間が必要です。
●撮影時の反応が悪い場合は両撮影時に各ボタンを何度か押してください。
●動画の撮影は一度ボタンを押して録画が開始されてから、再度ボタンを押すと停止します。
録画開始後、再度ボタンを押さなければ動画は保存されませんのでご注意ください。

※保存された動画、 静止画データの撮影日付はデフォルトの日付より変更することはできません予めご了承ください。

（3） 付属USBカードリーダーの使用方法

画像を参考に、マイクロSDを正しい向きでリーダーを挿入してください。
その後､PCに挿入することで認識され動画の確認が行えます。

プロペラの回転方向確認

モーターの回転方向とプロペラの向きが正しくないとフライト出来ません。実際にモーターを回転させ、図の通りモーターが回ることを確認します。特にモーターを交換した際や、プロペラを交換した際は必ず確認してください。

注意
各プロペラが下向きに風が発生していることを確認してください。

時計回り 反時計回り 前方向 左 右 後 反時計回り 時計回り

プロポと機体のバインド方法

本製品のRTFモデルは工場出荷状態でバインドが完了しております、しかし送信機を変更した場合やプロポレス機は初めにバインドの必要がありますので下記の手順に従いバインド作業を行ってください。

1　スロットルが最スローであることを確認し送信機の電源を入れてください。そして機体に30センチ以内まで送信機を近づけてください。

2　機体の電源を入れてください、すると機体後方の赤色LEDインジケーターが点滅～点灯を繰り返します。
完全に点灯するとバインドが完了します、完了するまでにおおよそ15秒ほどかかります。

注意
ヘッドロックモードとカムバック時はコントロール精度に影響を及ぼしますので送信機は地面対して水平に持ち、アンテナの先を機体に向けてください。

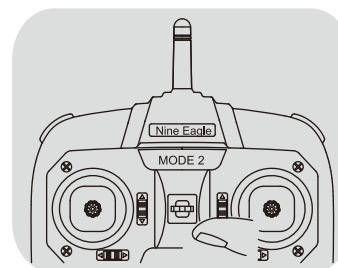
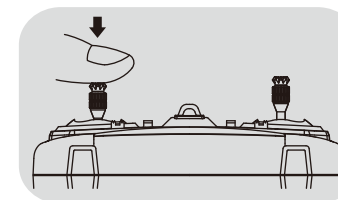
アドバンスセットアップ

加速度センサーキャリブレーション

こちらでは機体内部の受信機一体型９軸センサーのキャリブレーションの方法を記載します。

加速度センサーのキャリブレーションは工場出荷時に行われております。そのため通常はこちらの設定を行う必要はありませんが、何らかの原因で著しく飛行安定性が損なわれた場合にはこの設定を行うことで改善する場合があります。

通常はトリムで飛行調整を行い、これらの設定を行っても改善しない場合はローター・基盤・モーターのいずれかの損傷が考えられます。

Nine Eagle MODE 2

図Ｎ

図Ｏ

キャリブレーションモード起動方法

送信機のトリムが全て中立であることを確認し、機体を水平な場所に置き送信機・機体ともに電源を入れてください。
次に右のスティックを最スローにした状態で押し続けてください、その時に左のスティックを３回続けて押してください。（ビー）と音が鳴り各トリムの液晶インジケーターが操作しても反応しなくなれば、キャリブレーションモードが正しく起動したことを示します。
起動したら送信機のスティックから手を離してください。　（詳細は P30 のアジャストモード設定をご覧ください）

キャリブレーション方法

スロットルトリムを一回上に操作してください。すると機体後方の赤色LEDインジケーターが高速点滅します。
そして 10 秒ほど待つとLEDが点灯に変わり、キャリブレーションが完了したことを示します。（画像N参照）
注意（反応しない場合は何度かスロットルトリムを操作してみてください）

キャリブレーション後のホバリング調整

その後、機体を1メートル程の高さでホバリングさせ機体が何れかの方向に流れてしまう場合はその向きを確認します。
もし機体が後方に流れてしまうのであればエレベータートリムを前に押して行きます。その他の方向でドリフトが発生した場合も同様にドリフト方向とは逆のトリムの数値を増加させます。上記の設定でドリフトが改善した場合は送信機の左のスティックを押し設定モードを終了します。左のスティックを押して送信機から（ビー）と音が鳴り各トリムが通常に使用できるようになりましたら正常にキャリブレーションが終了したことを示します。（画像O参照）
ドリフトが改善しない場合はP18を参考にもう一度トリムを取ってください。

注意:ホバリング調整は風のない屋内で行ってください。

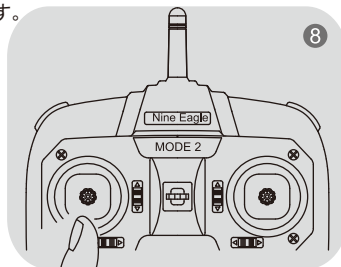
カムバック速度設定

追い風や向かい風などにより周囲の飛行環境が変化するとGV2のリターンスピードに大きく影響を及ぼします。
その為、環境の変化に応じてリターンスピードを調整する必要があります。

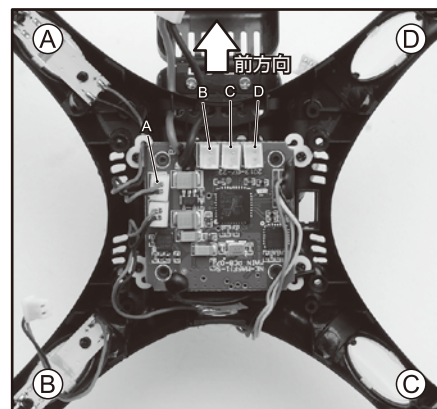
1） 送信機と機体の電源を入れP30のアジャストモード設定へ移行します。

2） アジャストモード時にラダートリムを左に押して行くと機体後方のシグナルインジケーターのLED点滅が高速点滅に変わり、カムバック速度が増加します。

3） アジャストモード時にラダートリムを右に押して行くと機体後方のシグナルインジケーターのLED点滅がゆっくりとした点滅に変わりカムバック速度が減少します。

4） 送信機の左スティックを押すことで設定値が保存されアジャストモードが終了します。

モーター取り付け配線図

図を参考にコネクターを基盤に接続してください。

- モーターコネクターAを基板Aの位置に接続します
- モーターコネクターBを基板Bの位置に接続します
- モーターコネクターCを基板Cの位置に接続します
- モーターコネクターDを基板Dの位置に接続します

注意：修理の際は説明書に従い正しくモーター配線を接続してください。

Galaxy Visitor 2 | Nine Eagles® Instruction Manual

新品交換保証について

万一機体が大破してしまった際、弊社では定価の約半額で新品に交換できる「新品交換保証」制度があります。

「新品交換保証」を適用させて頂くには、弊社で販売されたことを証明する「元箱」・「日本語説明書」・「機体など付属品一式」を弊社へお送りください。その際、【修理依頼票】にご記載頂けますようお願いいたします。

新品交換保証とは?…定価の約半額で全く新しい商品をお送りする制度です。破損してしまった場合、修理金額が高額となる場合、新品交換保証を適用させて頂く場合もございます。あらかじめご了承ください。

新品交換保証額：　11,000円（カメラ付きRTFキット）
8,500円（カメラ無しRTFキット）

修理・サポートについて

お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や技術的なご質問がある場合はまずP26のQ&Aをご覧いただいた後、販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。
また、弊社サポートページにはトラブル解決のためのヒントがあります。
http://www.hitecrcd.co.jp/support/index.htm

修理サポートをご要望の場合は、別紙の「故障かなと思ったらお読みください」をご覧頂き、弊社まで商品一式をお送りください。お電話またはお問い合わせフォームをご利用頂くことで解決できる問題も多くございますので、トラブルがあった際はお送り頂く前に弊社カスタマーサポートまでご連絡頂けますようお願い致します。

スペアパーツつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。
お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショップ一覧をご覧ください。
http://www.hitecrcd.co.jp/shop/index.htm

フライトに関するQ&A

Q. 離陸させようとすると機体が大きく傾き、離陸できない。

A. バッテリを装着する際、機体を手にお持ち頂いた状態で接続すると正しくジャイロが機能しない場合もありますので、出来るだけ水平な場所に置いた状態でバッテリを繋ぎ、起動してからバッテリーホルダにバッテリを挿入するようにしてください。

Q. プロペラが外れやすくなった。

A. プロペラに衝撃が加わった際にプロペラ中央のモーター軸取付穴が緩む場合があります。この場合はプロペラを交換して下さい。緩んだ状態でフライトすると、フライト中にプロペラが吹き飛ぶことがあります。十分ご注意ください。

Q. モーターを交換したらフライト出来なくなった。

A. ２４ページの記載通りにモーターの配線を正しい位置に接続しないと、正常にフライトできませんので再度ご確認の程お願い致します。

Q. プロペラを取り付ける向きは決まっていますか？

A. 決まっております、正しく浮力が付く向きに取り付ける必要があります。離陸の際に機体がひっくり返ってしまう場合はプロペラの取り付けを誤っている可能性が高いです。
22ページをご確認ください。

Q. フライト出来なくなるまでバッテリを使用してから、バッテリが充電できなくなった、充電してもすぐに動かなくなった。。

A. バッテリーが過放電している可能性があります。過放電とはモーターが動かなくなるまでご使用いただくと、充電できなくなることがあります。1セルバッテリ（3.7V）の場合、3.7V以下になると過放電と言えます。バッテリチェッカーや電圧テスターでバッテリー電圧を計測することで判断できます。

Q. 送信機からアラーム音がするようになった。

A. 「ピッ・・・」という音は、送信機の単三電池残量が少なくなった際のアラーム音です。単三電池を交換して下さい。

Q. LiPoバッテリの充電時間はどのくらいですか？

A. バッテリ残量によっても変わってきますが、40分前後となります。

Q. 飛行中、機体から異音がする

A. プロペラが曲がり損傷している可能性があります。目に入らないよう十分注意し機体を横から見たときプロペラが二重に見えるときはプロペラの交換が必要です。異常音、飛行安定性の低下につながりますのでプロペラに異常がある場合はすぐに交換してください。

Q. カムバック機能が上手く作動しない

A. 送信機と機体には磁気センサーが装備されているため、以下に記載する場所では磁気センサーが正常に動作しない場合があります。
「鉄骨製の倉庫」、「鉄筋ビルの室内」、「機器の多い室内」
「都心のビル街」、「鉄塔の近く」、「金属等の導電性の床」

Q. カメラが撮影できない、マイクロSDが読み込めない

A. 付属のカメラシステムを使用する場合は、必ずマイクロSDをカメラに挿入した状態で、機体の電源を入れてください。送信機、機体の電源を入れた後にマイクロSDを挿入すると、正しく撮影できない場合がございます。また、マイクロSDの情報を正しく読み込むことができない場合は、PC等でマイクロSDのフォーマットを行った上で、再度上記手順に注意し撮影を行ってください。

Q. 動画が正しく再生できない

A. 以下の手段を行っても改善しない場合は弊社カスタマーサポートにお問い合わせください
・SDカードをフォーマットし再度撮影する。
・動画ファイルをPCに保存し再生する。
・可能であれば別のPCやSDカード、リーダーを用意し動画を確認する。
・動画再生ソフトを複数用意し動画を確認する

Q. ヘッドロックモードが正常に作動しない。

A. ヘッドロックモードは機体が離陸する前にそのモードを作動させ離陸してからラダースティックで機体を回転させると正常に動作します。モードを作動させてから機体を地面に置き、手で機体を対面状態に向きかえたり、一度着陸すると正常に動作しませんのでご注意ください。

Q. 加速度センサーのキャリブレーションとトリムの調整を行ってもある一定方向に流れる極端なドリフトが改善しない。

A. 予め紙などで段差を作り機体をドリフトする方向とは逆に傾けた状態で加速度センサーのキャリブレーションを行ってください。

Q. バッテリーが上手く取り出せない。

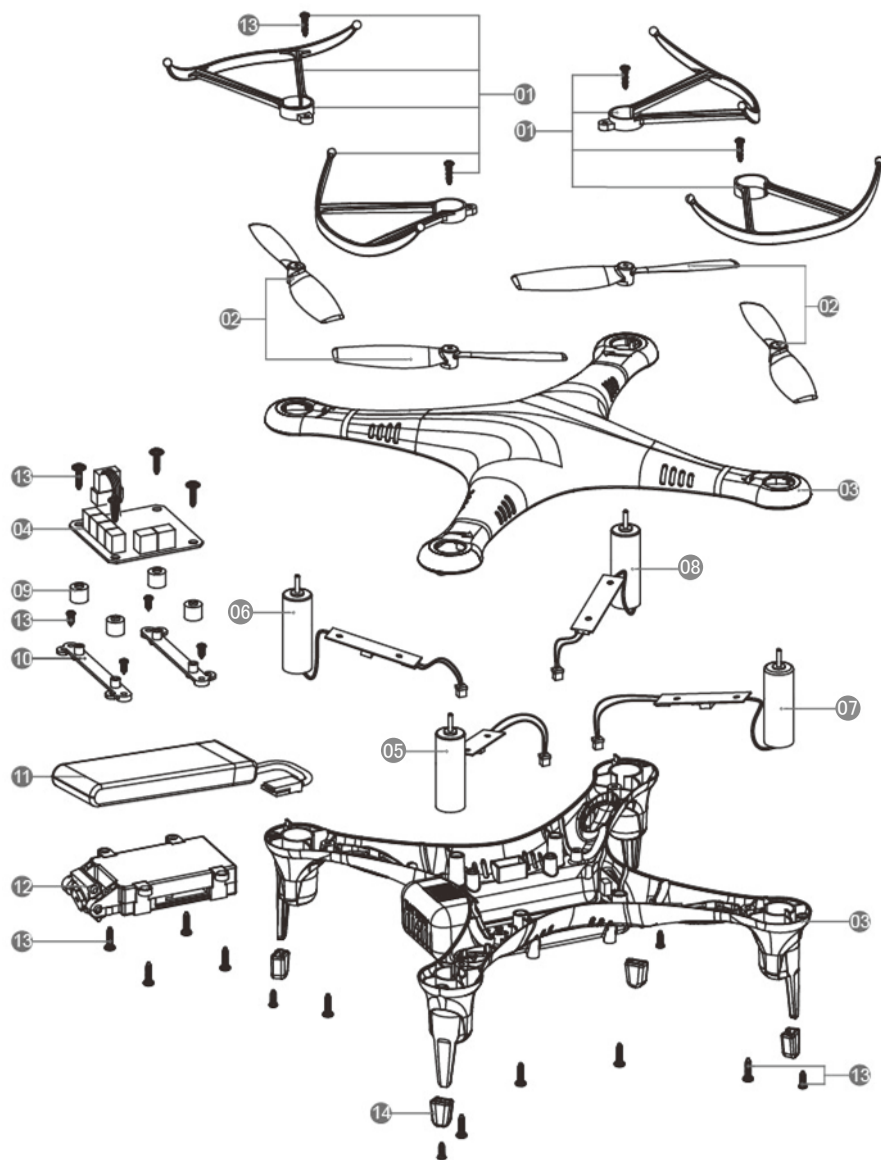
A. バッテリーのコードが引っ掛かり蓋が開けられなくなる場合がありますのでコードをしっかりと奥に押しこみコードが蓋に絡まないようにしてください。

Q. ブレーキファンクションが作動しているのに自動的にホバリングしない。

A. 本機体は姿勢制御にＧＰＳを使用しておりませんのでブレーキファンクション後も多少のドリフトが発生する場合があります、スティック操作による補正舵が必要です。

Q. カムバック、フォローミー機能が上手く作動しない

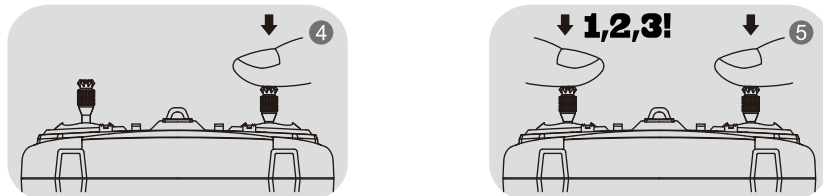
A. 本機体は姿勢制御にＧＰＳを使用しておりません。そのため、カムバックはあくまでも操縦者の近くに戻ってくる機能であり送信機を傾けることで多少の補正が必要です。
フォローミー機能は送信機を傾けることでカムバックの軌道を補正できる特徴を利用して行うアクションです、その為上手く動作させるには多少の練習が必要です。

Galaxy Visitor 2 展開図

Galaxy Visitor 2 パーツリスト

展開図No.	品 番	名 称	定 価(税込)
1	NE400833	ブレードプロテクター(ブラック)	¥525
	NE400838	ブレードプロテクター(ホワイト)	¥525
2	NE400654	ブレードセット	¥840
3	NE400804	フレームセット(ブラック/ホワイト)	¥2,940
	NE400821	フレームセット(ブラック)	¥2,940
	NE400822	フレームセット(グレー)	¥2,940
4	NE480248	受信機セット	¥7,875
5	NE400805	モーター正回転(レッドライト)	¥1,575
6	NE400806	モーター反回転(レッドライト)	¥1,575
7	NE400807	モーター反回転(ブルーライト)	¥1,575
8	NE400808	モーター正回転(ブルーライト)	¥1,575
9	NE400652	ラバープラグ	¥420
10	NE400810	レシーバーサポート	¥315
11	NE480220	LiPOバッテリー (ギャラクシービジター用)	¥1,995
12	NE53140031	カメラセット(2GB SDカード・USBカードリーダー)	¥5,775
13	NE400832	スクリューセット	¥315
14	NE400823	フットラバーパッド(ホワイト)	¥420
	NE400811	フットラバーパッド(ブラック)	¥420
	NE480146	USB充電器 5V,500mAh(ALIEN付属充電器)	¥945
	NE480305	GV2 350mAh バッテリー	

※各種パーツは改善のため、予告なく仕様変更および形状変更する場合がありますので
ご了承ください。最新情報は弊社Webサイトにてご確認頂けます。
http://www.hitecrcd.co.jp/

アジャストモード設定

1） 初めに送信機の電源を入れます。その後、機体のリポバッテリーを
接続し機体の電源も入れます。
2） バインドが完了するまで待ちます。
（機体後方のシグナルインジケーターが点灯するのを確認します。）
3） 送信機の右スティックを長押しします。（画像4）
4） 送信機の左スティックを素早く三回押します（1回ごとに0．5秒程の間を設けます。）送信機から`Di`という音が鳴り、送信機の液晶画面のトリムインジケーターがメイントリムを操作しても反応しなくなれば、アジャストモードへの移行が完了したことを示します。

送信機フライト感度設定

初心者の方は操作に慣れるまでデフォルトの設定値より変更しないでください。しかし、機体の操作に慣れて機体の運動性を変更したい場合は自由に設定を変更することが可能です。

1） 初めに送信機の電源を入れます

2） 送信機の左のスティックを長押しします。左のスティックを押している間は送信機から　Di・・・と音が鳴り続けます。
音が鳴っている時に送信機右のスロットルスティックを上下に動かします、すると液晶画面の数値がスティックに応じて変化します。数値が上がるほど機体は機敏な設定になり、数値が下がるほど機体はゆっくりとした動きになります。デフォルトの数値は38です。設定が決まったら左のスティックから指を離します。音が鳴りやめば設定が保存されます。

3） D/R設定のワイド、ナロー両方で設定可能です。

送信機キャリブレーション手順

AUX1ボタンを押しながら送信機の電源を入れます。送信機の液晶ディスプレイに1と表示された後、直ぐに2と表示されます

送信機を自身から見て画像のように平らな場所に置きます。そしてゆっくりと送信機を時計周りに三回回します。
その後、同様に今度は反時計周りに三回回します。

（画像9）

※この設定は弊社HPのサポート設定動画と方法が一部異なっておりますが、こちらの案内が最新の為、こちらの設定方法をお試しください。

画像のように送信機を持ち矢印の向きに従い
まず手前に三回回し、次に反対方向に三回回します。

（画像10）

画像のように送信機を持ち矢印の向きに従い
まず左から右に三回回し、次に反対方向に三回回します。

（画像11）

画像のように送信機を45度程傾けて持ちます。矢印の向きに従い、まず手前に三回回し、次に反対方向に三回回します。

（画像12）

次に送信機を水平な場所に画像13の向きに従い置きます。
AUX1ボタンを一度押し、液晶画面の表示が0に変わることを確認します。

表示を確認したら次にAUX2のボタンを押します。すると送信機の画面に90と表示されますので画像13の矢印に従い送信機を90°回転させます。
ここで再度AUX2を押すと180と表示されまので
さらに送信機を90°回転させアンテナの先が180°を向くようにします。続けてボタンを押して行いくと270→0と表示されますので画面の数字に従い送信機を回転させ最終的には1回転させます。

※各工程は向きに注意し正確に行ってください

カムバック機能とフォローミー機能が上手く作動しない場合はまずホバリング調整とカムバック速度の設定を行いそれでも改善しない場合はこちらの設定を実施すると改善する場合があります。それでも改善しない場合は飛行環境がGV2の磁気センサーに影響及ぼしている可能性がありますので飛行場所を変えてみてください。